

ヴィオラ・ダ・ガンバ コンサート

とき：2012年 3月 21日 (水)

午後7時開演～8時30分まで

ところ：SAKURA Cafe

問合せ：090-4113-9585 喜多村まで

参加費：2000円

演奏

ヴィオラ・ダ・ガンバ 伊藤 美代子 チェンバロ 小原 道雄



~~~~~プログラム~~~~~

コンラート・ホフラー(1648-1705)

“婚礼式のための処女作”より ト長調 プレリユード、サラバンド、ジューガ

カール・フィリップ・アーベル(1723-1787)

“27曲のヴィオラダガンバのためのソロ”より 22番 ニ短調、2番・3番 ニ長調

作者不詳(17世紀中期)

リュウベックのソナタ ニ短調

ヨハン・セバスチャン・バッハ(1685-1750)

インベンション 第3番 ニ長調 BWV774 (チェンバロソロ)

マティアス・ベックマン(1616-1674)

トッカータ ニ短調 (チェンバロソロ)

ゲオルグ・フィリップ・テレマン(1681-1767)

“忠実な音楽の師”より ソナタ ニ長調 TWV 40:1 より

アンダンテ、ヴィヴァーチェ、レチタティーボ、アリオーソ、アンダンテ、ヴィヴァーチェ

カール・フリードリヒ・アーベル

ソナタ ホ短調 WK150 より シチリアーノ、アレグロ、プレスト

演奏者プロフィール

伊藤 美代子 Miyoko Ito ヴィオラ・ダ・ガンバ

スイス バーゼルスコラカントールム、ドイツ フランクフルト音楽大学、トロツィンゲン音楽大学に留学。教職および、ヴィオラ・ダ・ガンバ科ディプロマを取得し卒業。在学中、メニューイン財団奨学金を得る。現在 ブレーメン音楽大学院にてヒレ・パールに師事。2006年ベルリンAlte Musik-treff Berlinコンクールで特別賞受賞。2007年シュトゥットガルト古楽コンクール・アンサンブル部門で2位受賞。2009年バッハ・アーベル国際コンクールでファイナリスト等、数々の賞を得る。チェロを古澤 渉氏、宮澤 等氏、ヴィオラ・ダ・ガンバを、宇田川貞夫、パオロ・パンドルフ、ライナー・ツィッペリン、ロレンツ・デュフトシュミッツ各氏に、又、バロックチェロをライナー・ツィッペリン、ウェルナー・マツケ各氏に、室内楽をアントニー・ルーリー氏に師事。マイスターコースでジョルディ・サバル、ヴィーラントクイケン、ヤープ・テルリンデン、ヴィットリオ・ギエルミ各氏に学ぶ。その他、中世ルネッサンス音楽をキース・ボーケ、モリス・ヴァン・リースハウト及び、レベッカ・シュツワート各氏に師事、モリス氏率いる中世ルネッサンスアンサンブル“Schola Stralsundersis”のCD録音リリース。2008年より毎年、ウィーン オデオンオペラ劇場等で、ロレンツ・デュフトシュミット、フィリップ・アーノンクール、マリア・クリスティーナ各氏と共演。オーストリア・スイス・イタリア・フランス・イギリス・中国など、国内外に於いて広く活躍。現在、トゥーニンゲン音楽学校講師。

小原 道雄 Michio O' Hara チェンバロ

愛知県立芸大（音楽学）首席、ライプツィヒ音楽大学（古楽器）卒、フランクフルト音楽大学（古楽器）。大阪国際音楽コンクール・アーリーミュージック（古楽器）部門入選、ファイナリスト(2009)。名古屋バロックオーケストラ常任音楽監督・指揮者(2009-)。やまのて音楽祭実行委員。愛知県立芸術大学にて「音楽学学生のためのキャリア支援コース」授業に招聘され講演(2010)。7年間のドイツ留学の間(2001-2008)、Oliver Kersken氏からはナチュラルホルンを通して、Wiebke Weidanz氏とMichaela Hasselt氏からはチェンバロを素材としてヨーロッパの音楽とは何かを全身に教え込んでもらう。そして何よりもこの3人の師からは、ヨーロッパの音楽家としてあるべき姿を学ぶ。ドイツの音楽仲間とはアイリッシュバンドでの活動も経験した。ドイツと日本以外にも、韓国やイタリアでも招致されて演奏活動をする。



地下鉄 東山線名城線 本山駅2番出口 徒歩2分